

国道沿いの電柱移転による景観整備、合掌づくりの電話ボックス、こきりこ踊り柄入り街灯など。



平村は藩政時代には流刑地であり、またここで藩の火葉や藩札が作られたため、他地域と隔絶された秘境となっていたが、現在は合掌家屋と民謡こきりこの里の観光地として広く親しまれている。

データボード⑦⑦

- ① 富山県平村上梨
- ② 平村役場 ☎0763-66-2131
- ③ 延長250m
- ④ ささらアーチ：鉄骨造り 看板：ケヤキ
ソナ木板 街灯：擬木柱 公衆電話ボックス：木造、カヤぶき
- ⑤ こきりこ祭り

地元ではこうした村のイメージをふまへ、歴史的遺産の保存に努力するとともに、ゆとりとうるおいのあるまちづくり積極的に取り組んできており、民宿や土産物店が並ぶ軒下には合掌イメージの灯ろうが置かれたり、看板類はすべて暖かみの感じられる木でつくられたりしている。

また、重要文化財である合掌づくり家屋の村上家を中心とする街並みも、電柱移転による景観の整備、合掌づくりの電話ボックスやこきりこ踊りの柄入り街灯の整備など、すべてが村人の創意・工夫の成果であり、魅力ある郷土づくりに情熱を注ぐ村の人達の誇りとなっている。